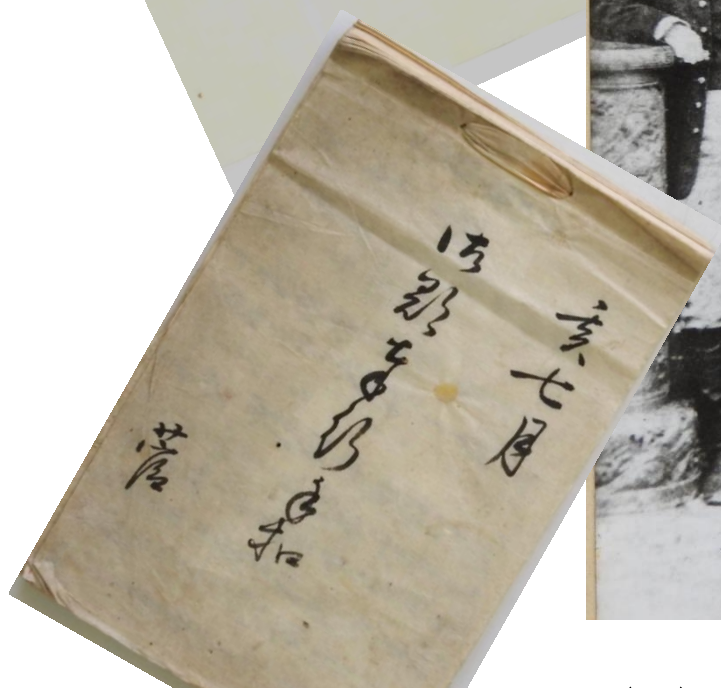
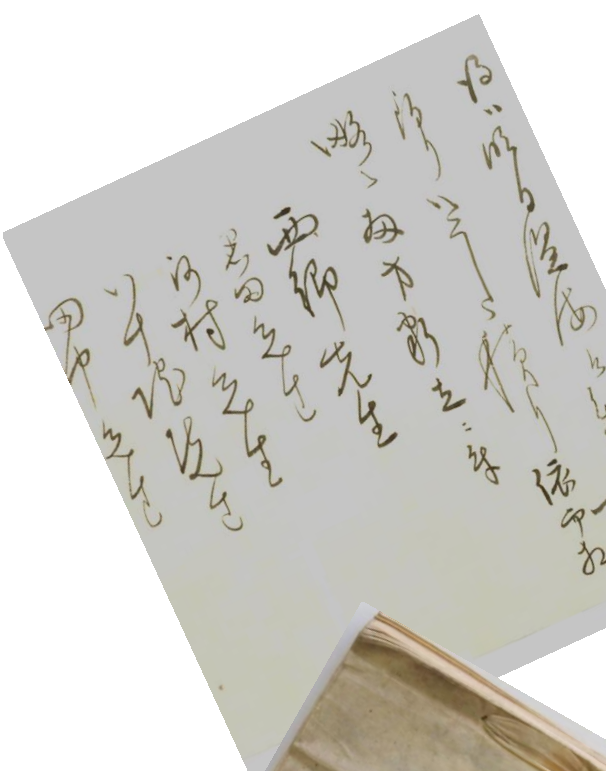


「戊辰150年」記念展示

菅 実秀 展



平成30年8月10日(金)～11月25日(日)

◆会場 鶴岡市立図書館二階

◆時間 9時30分～17時

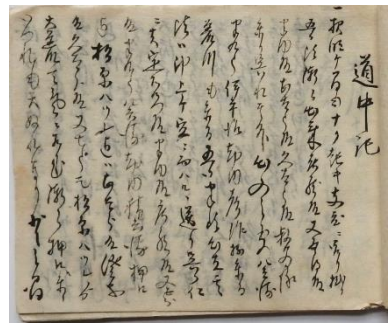
◆休館日 月曜日 (10月8日は開館、9日は休館)

鶴岡市郷土資料館

菅実秀が幕末維新时期の庄内藩を代表する人物であることは、誰にも異論はないことでしょう。しかしながら、象徴として作り上げられた部分もあり、その実像はあまりよく知られていないような気がします。

今回、郷土資料館では長年、菅家で大切に所蔵されてこられた史料をお借りして、史料から浮かび上がる菅実秀を紹介してまいります。展示している約80点の史料の中には、鳥刺し・釣りが好きの側面、郡奉行という実務家の姿、妻よしへの書状に見られる、夫または父としての横顔など、これまであまり知られていなかった菅実秀の姿があります。もちろん、西郷との関わりに関する史料も展示しております。

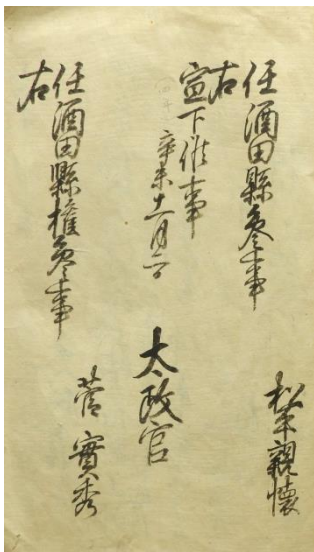
菅実秀が駆け抜けた時代を、史料を通して体感してください。



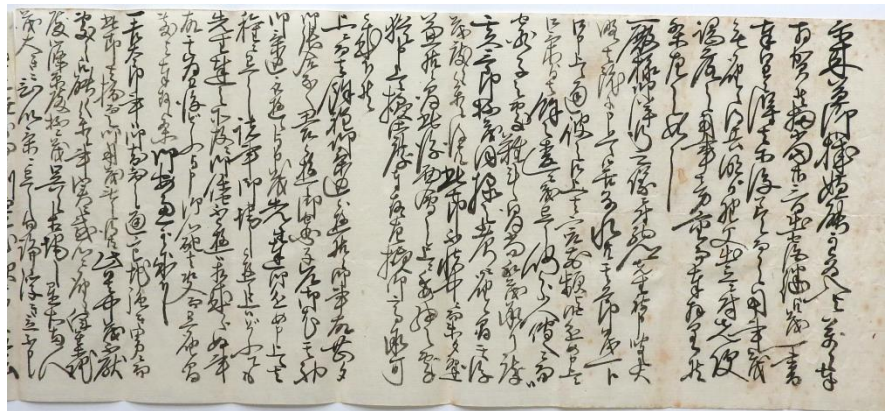
慶応元年 道中記。元治元年より江戸藩邸勤務となったが、2回、国元を往復している



慶応年間 左から神戸善十郎・酒井忠宝・菅秀三郎（実秀）



明治4年 酒田県権参事に任命される



明治6年頃 東京にいた犬塚勝弥からの書状。西郷をはじめ、当時の政府の状況を伝える

<展示構成と主な展示史料>

第一部 藩内で頭角を表すまで

・「郡奉行日記」 ・「道中記」(4冊) ・【書状】鳥刺しと釣り など

第二部 江戸藩邸時代

・「筆叢」(長州藩中屋敷接収) ・「慶応見聞集」(京坂方面への視察)
 ・【書状】新徴組三人の切腹と酒田湊口銭一件
 ・【書状】向島禁猟区一件の心情を語る など

第三部 新時代の牽引者として

・【書状】新県に対する西郷の意向
 ・【書状】後田山開墾と西郷らへの贈り物 など

第四部 西郷と庄内

・西郷の肖像画(石川静正筆)
 ・【書状】西郷の真意(酒井玄蕃→松本十郎) など